

事務事業評価シート

事務事業コード	028500	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%		
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	運営方法	その他
予算	予算事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金		予算事業コード	01-02-01-07-04-04	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取空港の利用促進
意図 (どのような状態にするために)	東京便の5便化維持、運賃低廉化、国際チャーター便の就航等。
手段 (どうするのか)	県内の自治体、商工団体、観光団体で組織する「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となり、便数の維持・拡大に向けた利用促進策や、国際定期路線の就航に向けた事業を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数36万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数37万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数38万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数39万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数40万人を目標値に設定。
年度別実績	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数35.4万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数36.6万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数38.6万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数39.6万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数40.6万人	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		12,817	12,819	12,738	12,647	12,924
直接経費 A		11,012	11,355	11,289	11,209	11,510
国・県		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他	333	0	0	0	0	
一般財源	10,679	11,355	11,289	11,209	11,510	
人件費 B	1,805	1,464	1,449	1,438	1,414	
職員数の内訳	正規職員	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	(KPI)年間有償搭乗者数	万人	目標	36
			実績	35.4	36.8	38.6	36.6	8.4
	(指標の説明) 基準値は平成22年度から平成24年度の平均有償搭乗者数							
2	鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	10	10	10	10	10
			実績	8	46	34	37	0
	(指標の説明) 鳥取空港を利用した国際チャーター便数							
3	鳥取東京便数	便	目標	5	5	5	5	5
			実績	5	5	5	5	5
	(指標の説明) 東京 - 鳥取便の数							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P153(都006)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立し、鳥取空港の利用促進活動を展開している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 2. 鳥取空港の国際化への取組 3. これらに係る関係機関への要望、働き掛け <p>【事業の成果】 負担金額及び鳥取 - 東京利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11,289千円</td> <td>408,732人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>11,209千円</td> <td>388,696人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>11,510千円</td> <td>92,083人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を中心に、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、鳥取 - 東京便の利用回復に資する取組を推進する。</p>	平成30年度	11,289千円	408,732人	令和元年度	11,209千円	388,696人	令和2年度	11,510千円	92,083人
平成30年度	11,289千円	408,732人								
令和元年度	11,209千円	388,696人								
令和2年度	11,510千円	92,083人								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]年間有償搭乗者数	98%	99%	102%	92%	21%
	2	鳥取空港国際チャーター便数	80%	460%	340%	370%	
	3	鳥取東京便数	100%	100%	100%	100%	100%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり今年度事業を完了した
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度を通じて減便が実行されたため目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減便での運行を余儀なくされたため利用は大幅に減少したが、5便化の維持、国際便の就航に寄与する事業であり、今後も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、関係機関と連携し実施していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028600	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地方バス路線維持対策補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利性の満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方バス路線維持対策補助金		予算事業コード	01-02-01-09-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	自動車の普及や少子高齢化の進行等の影響により、バス路線の減便・廃止が続く中、利用者本位の利便性の高い路線バスを維持する。
手段 (どうするのか)	バス事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	
年度別実績		バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	212,010	209,730	226,748	262,507	130,415	
	直接経費 A	210,566	207,900	225,299	261,069	129,001	
	直接経費の財源内訳	国・県	38,007	33,688	33,985	33,979	3,986
		地方債	0	0	0	0	19,800
		その他	0	0	0	1	1,626
一般財源	172,559	174,212	191,314	227,089	103,589		
人件費 B	1,444	1,830	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	%	目標	95	95	95	95	95
				実績	98.5	99.2	98.7	98.4
(指標の説明) 利用者の減少抑制を目指す。(対前年比95%以内)								
2	路線バス利用者数	人	目標	2680839	2546797	2419457	2298485	2183561
				実績	2780149	2756953	2721028	2678437
(指標の説明) 鳥取県東部の路線バス利用者数。								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P154(都007)</p> <p>【事業の概要】 本市の生活交通の中核を担う路線バスは、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない公共交通である。しかし、少子化の進展や自家用車に過度に依存した生活スタイルの拡大により、利用者は大幅に減少し、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市が路線バス事業者に対し赤字補填を行いバス路線の維持に努めている。</p> <p>【事業の成果】 赤字バス路線への財政支援を行うことで、中山間地域をはじめとする本市の生活交通を維持している。</p> <p>補助金額及び路線バス利用者数 平成30年度 225,299千円 272万人 令和元年度 261,069千円 268万人 令和2年度 129,001千円 234万人 令和2年度は218,000千円を別途補助金交付(路線バス運行継続緊急支援事業費)</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域の実情に合った効率かつ利便性の高い運行が重要となっており、路線再編や代替交通手段の検討・導入を実施していく。</p> <p>その他財源の諸収入は、地方バス路線維持対策補助金返還金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	104%	104%	104%	104%	92%
	2	路線バス利用者数	104%	108%	112%	117%	107%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を国、県、市が補助金を交付することで維持できている。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、様々な利用促進対策の実施により目標を概ね遂行することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	赤字の拡大や運転手不足を背景にバス路線の縮小・廃止が続く中、市民の移動手段を確保するため本事業を継続するとともに、より効率的で利便性の高い生活交通を確保していく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	028700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	バス代替タクシー運賃補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	バス代替タクシー運賃補助金		予算事業コード	01-02-01-09-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や公共交通を補完する地域での生活交通を確保する。
手段 (どうするのか)	路線バスの代替として、乗合タクシーを運行させ、運行経費と運賃収入との差額をタクシー事業者に補助金として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	
年度別実績		乗合タクシー運行事業者への支援 平成28年度新たに1路線運行開始計7路線で運行中	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	29,328	26,191	27,086	24,825	19,081	
	直接経費 A	28,245	25,093	26,000	23,746	18,020	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	2,824	3,928	4,376	1,512
		地方債	3,700	2,400	2,800	2,600	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,545	19,869	19,272	16,770	16,508		
人件費 B	1,083	1,098	1,086	1,079	1,061		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	バス代替タクシー利用者数	人	目標	30000	30000	30000	21000	21000
				実績	32724	32601	31575	21761
2	(指標の説明) バス代替タクシー年間利用者数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 バス路線の再編・減便・廃止等に伴う代替手段として運行されている乗合タクシーの運行経費の一部を支援する。 平成13年10月～ 洞谷地区(予約) 平成20年10月～ 国府地域(予約) 平成22年1月～ 米里地域、気高・青谷地域(予約) 平成24年10月～ 南部地域6路線(定時・予約) 平成28年4月～ 南東部地域(定時・予約) 令和元年3月 南部地域一部廃止 令和2年3月 気高・青谷地域廃止</p> <p>【事業の成果】 路線バスの代替交通手段として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を經由して運行させることにより、地域住民の生活交通を確保している。 補助金及び利用者数 平成30年度 26,000千円 31,575人 令和元年度 18,388千円 21,761人 令和2年度 18,020千円 17,628人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、バス路線の縮小や廃止が続く中、生活交通を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	バス代替タクシー利用者数	109%	109%	105%	104%	84%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	浜村・青谷線の廃止や新型コロナウイルス感染症に影響により利用者は減少したものの、各運行地域での利用促進対策の実施により、目標を概ね達成することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

バス路線の再編・廃止・減便された地域において、市民の生活交通を確保する重要な事業であり、継続実施する必要がある。

事務事業評価シート

事務事業コード	028800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市町村有償運送事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	外部委託
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市町村有償運送事業費		予算事業コード	01-02-01-09-07-17	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	公共交通空白地、交通不便地域において利用者本位の利便性の高い公共交通を確保する。
手段 (どうするのか)	市町村有償運送を導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区) ・南部支線バス(河原町・用瀬町・佐治町)
年度別実績	市有償運送バス運行 気高循環バス 運行回数 5,365回 利用者数 19,059人 絹見バス 運行回数 925回 利用者数 3,117人	市有償バス運行 気高循環バス 運行回数 5,390回 利用者数 19,857人 絹見バス 運行回数 808回 利用者数 3,124人	市有償運送バス運行 気高循環バス 運行回数 5,368回 利用者数 18,188人 絹見バス 運行回数 736回 利用者数 2,294人	気高循環バス 運行回数 5,368回 利用者数 15,936人 絹見バス 運行回数 788回 利用者数 1,876人 南部支線バス 運行回数 4,313回 利用者数 6,980人	気高循環バス 運行回数 5,291回 利用者数 14,571人 絹見バス 運行回数 1,588回 利用者数 4,037人 南部支線バス 運行回数 4,290回 利用者数 7,038人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	20,388	20,097	24,228	44,753	51,256
	直接経費 A	19,666	19,731	23,504	44,034	50,549
	国・県	0	3,167	4,786	5,525	5,476
	地方債	2,100	1,200	3,500	6,300	12,900
直接経費の財源内訳	その他	3,412	3,336	3,110	3,666	3,590
	一般財源	14,154	12,028	12,108	28,543	28,583
人件費 B	722	366	724	719	707	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.10	0.10	0.10
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	気高循環バス利用者数	人	目標	19059
			実績	19059	19857	18188	15936	14571
	(指標の説明) 平成28年度実績値							
2	絹見バス利用者数	人	目標	3117	3117	3117	3117	3117
			実績	3117	3124	2294	1876	4037
	(指標の説明) 平成28年度実績値							
3	南部支線バス	人	目標	0	0	0	6000	6000
			実績	0	0	0	6980	7038
	(指標の説明) 平成30年度実績より算出							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 路線バスや乗合タクシーが縮小、廃止となった地域において市有償バスを運行する。現在、気高町・鹿野町に「気高循環バス」を、青谷町に「絹見バス」を、河原町・用瀬町・佐治町に「南部支線バス」を運行し、各地域の生活交通を確保している。 気高循環バス 運行系統 4系統 平日 22便/日 絹見バス 運行系統 2系統 平日 20便/日 南部支線バス 運行系統 5系統 平日 20便/日(土日祝7便/日) 運休日 土日祝日及び12月29日から1月3日 運賃 中学生以上200円、小学生・障がい者等100円、幼児無料</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th style="text-align: center;">気高循環バス</th> <th style="text-align: center;">絹見バス</th> <th style="text-align: center;">南部支線バス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">利用者数</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">18,188人</td> <td style="text-align: center;">2,294人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和元年度</td> <td style="text-align: center;">15,936人</td> <td style="text-align: center;">1,876人</td> <td style="text-align: center;">6,980人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年度</td> <td style="text-align: center;">14,571人</td> <td style="text-align: center;">4,037人</td> <td style="text-align: center;">7,039人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 気高循環バス、絹見バス及び南部支線バスは地域住民にとって重要な生活交通であるため、今後も利便性の向上等を図りながら継続して事業を実施する必要があるが、運転手の確保が課題となっている。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の使用料は、気高循環バス・絹見バス・南部支線バス使用料。</p>			気高循環バス	絹見バス	南部支線バス	利用者数	平成30年度	18,188人	2,294人		令和元年度	15,936人	1,876人	6,980人	令和2年度	14,571人	4,037人	7,039人
			気高循環バス	絹見バス	南部支線バス														
利用者数	平成30年度	18,188人	2,294人																
	令和元年度	15,936人	1,876人	6,980人															
	令和2年度	14,571人	4,037人	7,039人															

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	気高循環バス利用者数	100%	104%	95%	84%	76%
	2	絹見バス利用者数	100%	100%	74%	60%	130%
	3	南部支線バス				116%	117%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p style="text-align: center;">年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り事業を完了した。
<p style="text-align: center;">事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	絹見バス、南部支線バスは目標を上回ったが、学生が利用の大半を占める気高循環バスは、学生数の減少により目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p style="text-align: center;">担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢化の進展等により公共交通のニーズが高まってきていることから、各地域の実情に合った利便性の高い運行管理を行っていく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	鉄道、バスなど公共交通の便利性の満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通空白地有償運送支援事業費		予算事業コード	01-02-01-09-07-18	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や交通不便地域において利用者本位の利便性の高い地域交通を確保する。
手段 (どうするのか)	鳥取市社会福祉協議会などが運行主体となる公共交通空白地有償運送に対して運行費支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
年度別実績		公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,302千円	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 9,963千円 福部循環バスの購入費補助含む。	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,149千円	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 1件 ・福部循環バス 交付額 2,789千円	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 1件 ・福部循環バス 交付額 3,614千円	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,024	10,329	3,511	2,933	3,755	
	直接経費 A	3,302	9,963	3,149	2,789	3,614	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,650	2,612	1,574	1,394	1,807
		地方債	0	5,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,652	2,051	1,575	1,395	1,807		
人件費 B	722	366	362	144	141		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.05	0.02	0.02	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	過疎地有償運送事業者数	件	目標	2	2	2	2	3
			実績	2	2	2	3	3
(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数(地域主体型生活交通確保支援事業との合算)								
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P155(都009)</p> <p>【事業の概要】 交通空白地域の生活交通を確保するため、鳥取市社会福祉協議会が実施する交通空白地有償運送を支援する。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市社会福祉協議会が実施する福部町での交通空白地有償運送(福部循環バス)に対する財政支援を行い、福部循環バスの運行継続を図った。</p> <p>補助金額及び福部循環バス利用者数 平成30年度 2,715千円 10,551人 令和元年度 2,789千円 10,326人 令和2年度 3,614千円 10,192人</p> <p>【今後の課題・方向性】 運転者の確保が課題となっており、運行継続に資する有効な支援策を講じていくとともに、運行内容の見直しや代替交通の検討を行っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	過疎地有償運送事業者数	100%	100%	100%	150%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民主体による生活交通を維持することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>交通空白地域における生活交通を確保していくための有効な事業であり、運行主体と連携し必要に応じて支援制度の見直しなどを行いながら事業を継続していく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028901	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業(地域主体型生活交通確保支援事業)		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鉄道、バスなど公共交通の便さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	直営
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域主体型生活交通確保支援事業費			予算事業コード	01-02-01-09-07-21

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や交通不便地域において利用者本位の利便性の高い地域交通を確保する。
手段 (どうするのか)	NPO法人などが運行主体となる公共交通空白地有償運送に対して運行費支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画				公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
	年度別実績				公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・ふるさとバス ・大和ふれあいバス 交付額 5,731千円 大和ふれあいタクシーの車両購入費含む	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績4件(OMU、大和まち協、さし未来、いきいき国英、さし未来、いきいき国英、さし未来は、試験運行等の導入に係る経費補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	5,947	7,064	
	直接経費 A	0	0	0	5,731	6,852	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	1,863	2,446
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	3,868	4,406	
人件費 B	0	0	0	216	212		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	過疎地有償運送事業者数	件	目標	0	0	0	2	3
				実績	0	0	0	3	3
	(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数(公共交通空白地有償運送支援事業との合算)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P155(都010) 12月補正・P27(都001)</p> <p>【事業の概要】 運転者不足が深刻化し、路線バスや乗合タクシー、市有償バスの減便や廃止が続いている。また、交通空白地域で自家用車を運転できない高齢者や学生の移動手段の確保が課題となっている。このような中でNPO法人やまちづくり協議会等が取り組む交通空白地有償運送(共助交通)を支援し、本市の生活交通の確保維持を図る。</p> <p>【事業の成果】 運行支援 補助金額及び利用者数 ・NPO法人OMU(末恒地区) ・大和地区まちづくり協議会 平成30年度 434千円 470人 - - 令和元年度 917千円 443人 4,814千円 688人 令和2年度 738千円 513人 1,365千円 928人 導入支援 補助金額 ・いきいき国英ふるさとづくり協議会 4,290千円(試験運行費及び車両購入費) ・NPO法人さじ未来 459千円(試験運行費)</p> <p>【今後の課題・方向性】 運行を継続していくために運行体制の育成、確保が課題となっており、効果的な支援策を講じながら事業を継続していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	過疎地有償運送事業者数				150%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民主体による生活交通を維持することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	市民との協働による生活交通を確保していくための重要な事業であり、今後も地域の意見や要望等を伺いながら必要に応じて支援制度の見直しを行っていく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	029000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	100円循環バス運行事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度(H26年度:23.1%)	0%	30%	運営方法	その他	
	鳥取砂丘コナ空港の年間有償搭乗者数	36万人	39万人	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	100円循環バス運行費負担金		予算事業コード	01-02-01-09-08-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で活動する市民、観光客等
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等。
手段 (どうするのか)	市街地をワンコイン(100円)で移動することができる公共交通を運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		くる梨の運行 年間利用者数37万人 人を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数38万人 人を目標値に設定。	くる梨の運行 路線見直し 年間利用者数39万人 人を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数40万人 人を目標値に設定。 新路線(実証実験) での運行開始	くる梨の運行 年間利用者数40万人 人を目標値に設定。 新路線(本格運行) に向けての路線見直し
年度別実績	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 38.1万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.5万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.7万人 路線見直し ㈱バイタルリードに委託し新路線案を作成。	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 36.9万人 路線見直し 10/1より路線再編に伴い実証運行開始。	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 28.4万人 路線見直し 本格運行運行に向けて路線の見直しを行う。	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		35,073	39,517	42,168	57,505	76,429
直接経費 A		33,629	37,687	39,995	55,348	74,308
国・県		0	7,604	8,409	8,450	5,086
地方債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
一般財源	33,629	30,083	31,586	46,898	69,222	
人件費 B	1,444	1,830	2,173	2,157	2,121	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.30	0.30	0.30
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	利用者数	人	目標	370000
	(指標の説明) くる梨の年間利用者数		実績	381912	395471	397015	369252	286041
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P156(都012)</p> <p>【事業の概要】 100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の活性化を目的に、平成16年1月から本格運行を開始している。また、平成25年4月から緑コースを運行開始した。令和元年10月より路線再編に伴う実証運行を実施し、令和3年10月1日から新路線での運行を開始する。</p> <p>【事業の成果】 負担金額及び利用者数 平成30年度 39,995千円 397,015人 令和元年度 55,348千円 369,252人 令和2年度 74,308千円 286,041人</p> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化及び公共交通の利用促進、市中心部における交通空白地域の解消を図るため、利便性の向上や運行の安全確保の対策を講じながら事業を継続していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	利用者数	103%	104%	102%	92%	72%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回った

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)	市中心部の移動手段を確保するための重要な事業であり、継続して実施していく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	029100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取港振興会対策事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便の満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取港振興会対策費		予算事業コード	01-07-04-01-04-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取港の利用者(市民、事業者等)
意図 (どのような状態にするために)	利便性の高い港湾 ・貨物取扱量の増加。(港湾利用企業の誘致、新規貨物の獲得) ・クルーズ客船の誘致、受入れによる港の賑わい創出。 ・ボートパークの利用。
手段 (どうするのか)	県、市、商工団体、事業者等で組織する「鳥取港振興会」に対し活動経費を補助し、クルーズ船誘致、外国貿易の促進策などを強化・推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助
年度別実績	職員1名を派遣 補助金4,682千円	職員1名を派遣 補助金6,588千円	職員1名を派遣 補助金5,504千円	職員1名を派遣 補助金3,025千円	職員1名を派遣 補助金1,328千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,414	7,329	6,238	3,754	2,045	
	直接経費 A	4,692	6,597	5,514	3,035	1,338	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,692	6,597	5,514	3,035	1,338		
人件費 B	722	732	724	719	707		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				鳥取港取扱貨物量	万トン	目標	73	74
1	(指標の説明) 鳥取港の輸出入・移出入に係る平成27年の貨物量	実績	72	81	63	54	48	
		クルーズ客船の誘致、受入	回	目標	2	2	2	2
2	(指標の説明) 外国客船を含むクルーズ客船の寄港回数	実績	0	1	1	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P157(都014)</p> <p>【事業の概要】 鳥取港の利用促進を図るため、「鳥取港振興会」が中心となって実施するポートセールス活動等を支援する。 クルーズ客船誘致活動 外国貿易促進活動 港湾施設の整備及び港湾関係公共機関の設置に係る要望活動</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 貨物取扱量 64万トン クルーズ船寄港 1隻 令和元年度 貨物取扱量 54万トン クルーズ船寄港 0隻 令和2年度 貨物取扱量 48万トン クルーズ船寄港 0隻</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、鳥取港振興会と連携し鳥取港の利用促進に資する有効な事業を推進していく。また、鳥取港を麒麟のまち圏域の観光振興拠点及び物流振興拠点としていくための環境整備が重要となっており、県、国と連携し中長期的に取り組んでいく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	鳥取港取扱貨物量	99%	109%	84%	71%	62%
	2	クルーズ客船の誘致、受入		50%	50%		
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり今年度事業を完了した
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響によりクルーズ船の寄港が中止。船会社や旅行社へのセールス活動も積極的に実施できなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大によりクルーズ船の入港中止などの影響があったが、麒麟のまち圏域の観光・物流拠点として利用促進を図る重要な事業であり、継続して実施していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	037800	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進事業		所属名	都市整備部 都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	直営
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金		予算事業コード	01-07-01-01-02-19	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	「山陰新幹線」の早期実現
意図 (どのような状態にするために)	「山陰新幹線」の整備
手段 (どうするのか)	2府5県の52自治体で組織され、鳥取市長が会長を務める「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の会長市として、国への要望活動、山陰新幹線整備の効果検証、地元機運の醸成活動など、山陰新幹線の実現に向けた活動に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議を通じた要望活動等の実施	
	年度別実績			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議を通じた要望活動等の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	774	769	3,292	
	直接経費 A	0	0	50	50	50	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	50	50	50	
人件費 B	0	0	724	719	3,242		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	[KPI] 山陰新幹線の実現を目指します。	回	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	2	1	
	(指標の説明) 山陰新幹線の実現を目指し、国等への要望活動を実施。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【事業の概要】 (1)「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動を通じて、国及び関係機関・団体への要望、広域的・全国的な啓発、山陰新幹線整備に関する調査・研究、情報収集・交換等の事業を展開する。 会 員 福井県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県内の5市町村 会 長 鳥取市長 事務局長 京丹後市長 負担金 鳥取市：50,000円 (参考 米子市：50,000円、倉吉市：30,000円)</p> <p>【事業の成果】 (1)国土交通省等に対する要望活動(郵送、9月)を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 第一期整備計画路線の整備が完了を迎えつつある中、山陰新幹線の第二期整備計画への採択に向けて今後数年が正念場となるため、関係者一丸となった取り組みを強化・推進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]山陰新幹線の実現を目指します。			100%	200%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動を通じて、当初計画のとおり要望活動を行うことができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

第一期整備計画路線の整備が完了を迎えつつある中、山陰新幹線の第二期整備計画への採択に向けて今後数年が正念場となるため、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動をさらに活発化させるとともに、鳥取県をはじめとする行政、また議会や経済団体などとも連携し、関係者一丸となった取り組みを強化・推進していく。